

八代市坂本地区における農地や農業用施設の被災と災害復旧のまとめ

R2年度
農地整備課 対応

R3年度
災害復旧課 発足

R4年度

R5年度
坂本支所災害復旧課
に課名変更

R2.7 発災 調査

初動

- 7/5～11 ドローン撮影を伴う被害調査 (熊本県及び水土里ネットに調査協力依頼)
- 7/13 専決予算要求
- 7/9～28 コンサルの確保・現場説明
→施設災の現地測量開始 (南星測量、水土里ネット、三井協同建設コンサルタント)
- 7/29 被害確定報告

被災農家への対応

- 7/16～24 農地等災害
- 7/27～8/2 農地等災害復旧事業への意向調査 復旧事業の地元説明会
- 8/3～ 農地等災害復旧事業申請箇所の現地確認及び地権者との立会
→農地災の現地測量開始 (南星測量、水土里ネット)
- 8/3 第2回専決予算要求
→営農を継続するために必要な「農家の自力復旧支援事業」の開始

R2.12 査定

- 10/1熊本市より災害応援職員が派遣される (10月～12月：上村氏→1月～3月：田村氏)
→災害査定に必要な計画概要書の作成 (二重採択防止協議、地元農家との協議を含む)
- 11/30～ 災害査定開始「通常査定」
農地40件、施設23件 査定額323,252千円
災害復旧課で坂本地区の農地24箇所 施設22箇所 査定額255,140千円を分担
- 12/23～25 補助率増高申請 農地96.9% (市1.55%、受益者1.55%)、施設99.4%

- 2/25～26 農地等災害復旧事業の地元説明会 (工事内容・受益者分担金・分担金納付確約書の徴収)
- 交付決定前着工承認、補助金交付申請、補助金交付決定
- 3月～ 工事発注

R3.12 計画変更にかかる手続きの緩和

国との協議が不要である軽微な変更(軽変)の範囲を拡大
・事業費が30%増えても300万円までなら軽変等
・2割以内の農地の面積の減は軽変

【箇所番号の説明】 2桁：農地災 100番台：道路災 200番台：水路災 300番台：頭首工災 400番台：橋梁災

農地災害復旧工事

被災した農地 24箇所 (約200筆の農地 約8ha) と完成年度 復旧事業費 約1億6千9百万円

24	25	21	43	32	30	41	28	40
42	22	29	31	33	38			
35	36	44	23	26	27			
			34	37	39			

R3年度 9箇所 復旧完了 R4年度 12箇所 復旧完了 R5年度 3箇所 復旧完了

農業用施設災害復旧工事

被災した農業用施設 22箇所 (農道 約850m、水路 約380m、頭首工1箇所 約5m、橋梁2箇所 約24m) と完成年度 復旧事業費 約1億6千1百万円

102	105	109	110	301	101	401	402
203	204	205	103	104	106		
208	111	114	107	112	201		
			202	207			

R3年度 9箇所 復旧完了 R4年度 11箇所 復旧完了 R5年度 2箇所 復旧完了

人材配置 敬称略

グローバル職員 鶴本課長、吉村課長補佐兼係長 2人 任期付職員任用 潮崎・篠塚 2人 熊本市派遣 中田→田村→中田→上村 3か月交代 1人 庁内派遣 谷口 (農地整備課より R4.1～R5.4) 0.3人 R3年度 5.3人	グローバル職員 鶴本課長、吉村課長補佐兼係長 2人 任期付職員任用 潮崎・篠塚・楠本 3人 熊本市派遣 中田 1人 R4年度 6人	グローバル職員 一美課長、吉村課長補佐兼係長 2人 任期付職員任用 潮崎・篠塚・楠本 3人 熊本市派遣 R5年度 5人
--	--	--

関わった職員 10人

